



# TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

生きること活かすこと

東京六本木ロータリークラブ会長

2014年6月23日発行 第399号

2013-2014年度 No. 39



### 本日のプログラム

平成26年6月23日  
卓話『元気な日本を創ろう』  
トヨタ自動車株式会社 相談役  
渡辺 捷昭 様

#### プロフィール

昭和17年2月生まれ  
昭和39年3月 慶應義塾大学経済学部卒業  
昭和39年4月 トヨタ自動車工業株式会社入社  
昭和57年7月 トヨタ自動車株式会社に社名変更  
平成4年9月 同社 取締役就任  
平成9年6月 同社 常務取締役就任  
平成11年6月 同社 専務取締役就任

平成13年6月 同社 取締役副社長就任  
平成17年6月 同社 取締役社長就任  
平成21年6月 同社 取締役副会長就任  
平成23年6月 同社 相談役就任（現在に至る）

平成21年11月 藍綬褒章受章

### クラブからのお知らせ [6月16日例会]

#### ● 平松会長挨拶

- 10日夜に虎ノ門ヒルズのアンダーズで開かれたカクテルパーティに招待を受け、出かけて参りました。客室やスパも拝見しました。52階に設けられたオープンエアのテラスから見る東京の夜景は見事なものでした。森さん、ありがとうございました。
- ミクロネシア短期大学で行われる作文コンクール表彰式に出席することをメインに、11月9日から14日までの5泊6日によるツアーを当クラブでは企画しています。うち4泊はポンペイで過ごします。
- 第2次大戦終結まで同国は日本の占領統治下にありました。そこで培われた日本語文化を存続・再生しようというのが、支援事業の目的で、最優秀者を日本に招き、日本文化に触れてもらい、それを国に持ち帰って皆で共有してもらうという自論見です。大半は何もすることのないツアーです。何もないことを皆で経験してみませんか。

#### ● 三田親睦委員長より

- 6月30日の夜間例会、50名の申込みを頂いていますが、まだ余裕があります。友人ご家族等お誘い合わせの上、ご参加ください。締切は6月16日です。
- フルートとピアノで盛り上がる予定です。

#### ● 渡辺幹事報告

- 本日のポストに第2750地区ローターアクトの広報誌第3号を入れております。本年度のローターアクトの活動をご理解頂くためにも、是非ご一読ください。
- 本年度の通常例会は、来週1回を残すのみとなりました。皆様のご出席を宜しくお願い致します。

#### ● 森社会奉仕委員長より

6月21日(土)に「六本木クリーンアップ」があります。いつも通り六本木ヒルズのクモのオブジェ前集合。9時からです。気候も良い時期ですのでふるってご参加ください。

#### ● お祝いの花束贈呈

日本文化を広く世界へ発信した功績に、文化関係者文部科学大臣表彰を受賞されたマーカエスティルさんに、お祝いの花束贈呈を執り行い、受賞のスピーチを頂きました。



6月9日(月)の理事会で、「休会」についての定款およびクラブ細則の改訂案及び同案件についての臨時総会の開催が採択された。これを受けて、本日臨時総会が開催され、理事会同様の内容で満場一致で採択された。



東京六本木ロータリークラブ

TOKYO  
ROPPONGI  
ROTARY CLUB



## 平成26年6月2日 卓話『秀吉 醍醐の花見』

総本山醍醐寺103世座主 三宝院門跡  
RI第2750地区 パストガバナー  
東京港南ロータリークラブ

仲田 順和 様



私が2004～5年の2750地区のガバナーを勤めましたとき、浅田さんが面白いことを社会奉仕でやってらっしゃったんです。「施しはいいよ 仕事が欲しい」というキャッチフレーズで、ハンディキャップのある人も納税者になろうという運動でした。私は非常に興味を持ち、これは2年、3年続けた方が実る話だと思い、浅田さんに社会奉仕委員長をもう1年とガバナー補佐をして欲しいとお願いしました。そうしたら浅田さんは、今、クラブの拡大を考えているんだけど、拡大とガバナー補佐とどっちがいいって私に言うんですね。それでクラブが拡大されることは一つ奉仕の起点が決まるから、是非クラブ拡大をとお願いしまして、浅田拡大補佐の元に六本木RCが生まれたんでございます。私は非常に印象深い2004年11月22日でした。

設立総会のあと、年が変わって1月24日にチャーターナイトをいたしました。その時に本当に私は、六本木RCにすごい思いを寄せました。2004年12月26日はスマトラ沖の地震で大きな津波がございました。1月24日にこちらへお伺いしたら、設立記念としてスマトラ沖地震に支援金を出すことをお決めになりました。私は当時ガバナー会の議長をしておりましたので、全日本のロータリーに六本木RCの設立と同時に義援金をいただいたことをお話しし、そこで大きな奉仕活動ができました。六本木RCの出だしは未来へ向かっての懸橋でございました。その時にもお話ししたんですが、未来は遠くにあるんじゃなくて今ここにあると、そして出番を待っているんだと。この出番に触れることが私たちに非常に大切だということをつくづく感じました。そして個人的にも、大変自分の中で、楽しみ、気持ちを鼓舞させ、ほほ笑むような言葉を浅田様から頂きました。挑戦することの快感という言葉でございます。私も10年間、文化財の保存とか、いろいろなことに挑戦し、その快感を味わわせていただきました。

私は醍醐寺に勤務し、醍醐寺の二百万坪の土地と七万五千点を数える指定文化財の管理に努めております。奈良から京都に遷都された頃、京都には羅生門を中心に東寺、西寺が建てられ、さらに大覚寺や仁和寺が建立されました。これらのお寺はどちらかといふと官立的なお寺です。醍醐寺は聖宝というひとりの僧侶の個人的な、命に対する祈りを中心とした寺でございます。醍醐寺の建つ地域は醍醐天皇の母方の出身地でございました。醍醐天皇は母方のおじいさま、お母様の勧めで醍醐寺の准胝觀世音菩薩に願を掛けられました。そして皇后との間に二人のお子様がお生まれになり、その命を大切にするために、人々の病を癒し心を癒すといつて薬師如来をお作りになりました。さらに不動明王を中心として5体の明王をお祀りし、命と心に力を持つて頑張って行かなきゃいけないという祈りをなさいました。醍醐寺は今もこの3つの祈りを中心に維持管理いたしております。

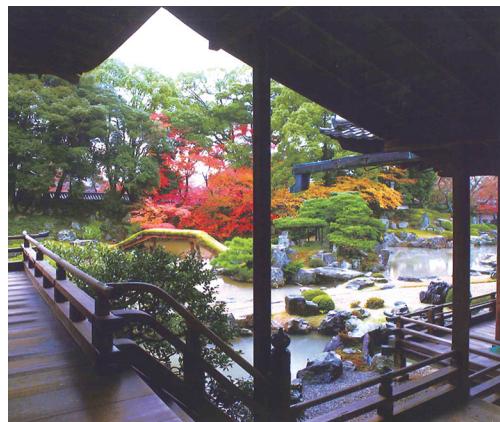
そのような寺でございますが、今日の姿からはとても想像のできない浮き沈みがございました。官立ではないのに国の指導者との関わりがございます。醍醐天皇、白河上皇に始まり、源氏、北条、そして足利尊氏らの信心を得て参りました。応仁の乱ですから焼け野原になり、五重塔一基が残るだけございました。丁度その頃、天正年間に入って秀吉が醍醐寺にござりました。秀吉が何故醍醐に来たのかということは余り知られていません。醍醐寺は観音経の教えとして、人間は生きとし生けるものの命をいただき、多くの人々の心をいただいている。だからいただきっぱなしではなく、どこかへお返ししなければいけない。それを探すのが日々の生活だという考えでございます。そこで聖宝理源大師





はご自分でそれを示されました。鎌倉時代の重源というお坊さんも60歳になって醍醐から奈良へ行き、焼かれた大仏殿を再興しました。叡尊という方も西大寺を開き、ハンセン病の方々のために大きな館を建て、そこで癒したというようなことがございます。秀吉も全くそれを地で行ったんでございます。秀吉の時代、天正13年の頃ですが、醍醐寺の座主は義演という方でした。義演座主は二条家の出身です。お気付きかと思いますが、二条家の閥白の称号を秀吉は譲り受けたわけでございます。天正13(1585)年7月、二条昭実から閥白の称号を受けることが決まり、秀吉は醍醐寺を訪れて義演座主に醍醐寺を復興したいという願いを出されました。秀吉は二条家から受けたその心を閥白の弟である義演座主を通じて醍醐寺に返されたわけです。1596年から五重塔の修復が始まり、秀吉も度々その様子を見に醍醐寺へ来られました。そのうちに桜が大変きれいだということから、普段、城にこもりがちの女房たちがこの桜を見たらさぞかし気も晴れるだろうということで、醍醐寺でのお花見を決められました。それが慶長3(1598)年でございます。わずかの間に秀吉は五重塔を完成し、紀州から、今、国宝になっている金堂を移し、また仁王門を建立しました。更には三宝院の庭園や御殿の作りを指導されました。でもお花見までには三宝院は完全にはできあがりませんでした。

秀吉はこの花見をするのに北政所、淀君はもとより700人の女房の方々を連れて行くことにしました。武将が加わって、当日は1300人程の大きな花見でした。このときにもう一つ隠れていることがございます。この700人の女性に3度着替えさせろという命令です。ですから武将は大変でした。西陣でこれを全部調達しましたので、京都の街で秀吉の悪口を聞くことはございません。今の言葉で言



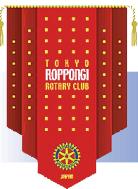
秀吉が築庭した三宝院の庭

えば地域産業の興隆だったかもしれません。花見は本当に絢爛豪華で、今、その品物はそのまま残っております。醍醐寺にとってはどちらかというとお遊びの道具ですから余り手を付けておりません。金の天目茶碗もございます。金で重いと思うんですが、持ちますと軽くて、そのうえ熱が伝わらないように作られています。お茶道具一つにしてもそれだけ気を入れたのだから、さぞかし女性のお召しものは綺麗だったろうと思います。700人の女房は大変喜んで、秀吉は今度は秋に紅葉狩りをしようと言い、醍醐寺に銀300枚を置いて、秋までに三宝院の庭をきちんと直し、御殿を作りなさいと命じました。醍醐の花見は余りにも有名で醍醐はもう桜だと決めつけられていますが、秀吉が思いを込めて作った三宝院の庭は秋仕立て、紅葉の時が大変きれいです。秀吉は紅葉狩りを楽しみにしていたんですが、その年の8月に亡くなりました。ですから人知れず三宝院のその築庭されたお山の上に豊国稻荷大明神という秀吉をお祀りした小さなお社がございます。また秀吉がお茶を好んだことから枕流亭や松月亭というお茶室を作り、秀吉の徳を偲んでおります。

来年、三宝院ができる900年になります。それに向けてお庭を整備し、三つのお茶室もきれいに整えました。是非みなさま見てください。そしてお茶をお点てになる方がいらしたらお点て下さい。醍醐寺でお道具を全部揃え、お菓子も点心も揃えます。よくそのお話をすると、お道具は持っていきますとおっしゃるんですが、お道具を持ってこられますと醍醐のお道具と混じてしまって困りますので、それはお断りしますが、お召しものを着替える部屋も用意しておきます。よろしかったらどうぞ。

こんなことをしながら醍醐寺の文化財の伝承にも力を入れております。デジタル化の時代で、文書をデータベース化し、仏像の立体採寸もいたしました。ワコールでは女性の採寸をノーアクションですというのを聞きましてワコールにお願いし、国宝の吉祥天をお持ちしました。そうしたらものすごい笑い声が出たんです。何か失敗したかとびっくりしたんですが、流石女性の採寸でございます。スリーサイズが出来まして、それで翌日の新聞には「醍醐寺3Dシステムで仏像の立体測定に成功」「平安の美は101,105,102のすん胴」と出ておりました。そんなことも楽しみながら醍醐寺にあります。

今日は粗辞でございましたが胸詰まる思いをしながら卓話をさせていただきました。ありがとうございました。

**ニコニコBOX情報**

森 宗明さん(別府中央RC)  
マーク先生、ご苦労さまでした。  
これからもお身体ご自愛頂き、ますますご活躍ください。

篠塚 博さん  
深田さんのお話楽しみにしております。

小笠 裕子さん  
深田様、本日の卓話、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

森 佳子さん  
先週虎ノ門ヒルズがオープン致しました。アンダーズホテルのご披露に、皆様お見え頂きまして有難うございました。今後共、宜敷くお願ひ致します。

大橋 寛治さん  
素晴らしいことに間違いのない、深田さんの卓話を楽しみにきかせていただきます。

中川 勉さん  
つゆの晴れ間でソーカイですね。

山中 祥弘さん  
深田さんの卓話、ありがとうございます。

渡辺 美智子さん  
6月3日、今野ひろ子さんの「5 for 1」を浅田さんのお店で開催いたしました。今日の週報をご一読下さい。当日会費の残りをニコニコ。

苅田 吉夫さん  
深田さんのお話を楽しみにしております。

日下部 真治さん  
コートジボアール戦、残念でした。ギリシャ戦に望みを託しましょう。

谷口 郁夫さん  
アンダーズ、素晴らしいです。

平松 和也さん  
深田様の卓話を楽しみにしています。

マークエステル・スキャルシャフィキさん  
今日みなさま花束をありがとうございます。  
いつも応援して下さる事を感謝しております。

門田 真乍子さん  
深田宏様、卓話楽しみにしております。

安井 悅子さん  
深田様の卓話を楽しみにしております。よろしく  
お願ひ致します。

今野 ひろ子さん  
深田さま、本日の卓話を楽しみにしております。

浅田 豊久さん  
アンダーズ東京の開業誠におめでとうございます。

藤井 卓也さん  
本日の深田さんの卓話を楽しみにしています。

山本 良樹さん  
サッカーは次回に期待しましょう。

**6月16日 合 計 72,000円  
累 計 2,233,000円**



FIFAワールドカップ2014 開催中！

**次回のプログラム**

**平成26年6月30日  
『年度末夜間例会』**

**6月16日の例会出席率**

・会員の例会出席数(出席率) 39名 (80%)  
・ゲスト・ビジターの参加者数 2名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元  
気にするための間伐と間伐材の有効活用  
に役立ちます

**東京六本木ロータリークラブ**

会長 平松 和也 幹事 渡辺 美智子 広報委員長 安井 悅子 広報委員長 片岡 雅敦 広報委員長 小篠 ゆま

事務局) 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>